

## 国際獣疫事務局（OIE）第 80 回総会概要

### 1. スケジュール等

- (1) 日程：平成 24 年 5 月 20 日（日）～5 月 25 日（金）（6 日間）
- (2) 開催場所：フランス・パリ
- (3) 我が国からの出席者  
農林水産省消費・安全局動物衛生課長ほか

### 2. 主な議題

#### (1) 公式疾病ステータス認定

- ① 口蹄疫：ボリビアの一地域が「ワクチン非接種清浄地域」に認定。
- ② 牛海綿状脳症（BSE）：オーストリア、ベルギー、ブラジル及びコロンビアが新たに「無視できるリスクの国」に、クロアチア及びニカラグアが「管理されたリスクの国」に認定。
- ③ アフリカ馬疫が、OIE のステータス公式認定疾病に指定。

#### (2) 主な陸生コード関係の結果

- ① 狂犬病コード：  
コード委員会の改正案が一部微修正の上承認。  
我が国が提案していた犬等の輸入条件における抗体検査の時期を「積載前 3 か月から 12 か月」を「積載前 6 か月から 12 か月」に修正することについては、継続検討され、次回コード委員会のレポートで報告される予定。
- ② アニマルウェルフェアと肉用牛生産システム：  
特段の意見なく承認。

#### (3) 主な水生コード・マニュアル関係の結果

- ① カキヘルペスウイルス病：  
カキヘルペスウイルス病（1 型及び 1 型  $\mu$  変異株）の通報対象リスト疾病への追加は、病原性のないウイルス感染の通報により不必要な貿易障壁をもたらすおそれがあるという我が国、カナダ、オーストラリア、アメリカ等の意見により見送り。
- ② コイヘルペスウイルス病：  
キンギョに感受性があると示唆した論文をマニュアルの「感受性種」の項目に記載することについては、我が国等の意見を反映し、従来と同様に「疑いのある水生動物キャリア」に記載することで承認。

#### (4) OIE リファレンスセンターの指定（日本関係のみ）

- ① 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所が、豚インフルエ

ンザの OIE リファレンスラボラトリーに指定。

- ② JRA 競走馬総合研究所の馬動脈炎 OIE リファレンスラボラトリーの指定取消。

## (5) 選挙

- ① OIE 理事会の選挙：

川島動物衛生課長が理事に選出（日本人初）。(OIE 理事会は、OIE 総会議長、副議長、前議長及び 6 名の理事により構成され、OIE の財務状況や組織戦略などを審議。)

- ② 陸生動物衛生規約委員会（コード委員会）の選挙：

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所の筒井俊之ウイルス・疫学研究領域長補佐が委員に選出（日本人初）。(OIE には 4 つの専門委員会（コード、科学、ラボラトリー及び水生動物）が設置。コード委員会は、動物衛生等に関する国際基準（コード）の作成・改正を行う最も重要な委員会。)

## 3. その他

藤田陽偉・前 OIE アジア太平洋地域代表（元農林水産省畜産局衛生課長）が、OIE の最高名誉賞である金賞を受賞。（金賞は、OIE の活動に関連した国際的な獣医サービスへの顕著な貢献に対して授賞。）